

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[show controller fia コマンド](#)

[関連情報](#)

概要

この文書では、show controller fia コマンドの出力の解釈の仕方について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントの読者は次の項目に関する知識が必要です。

- Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータの分散アーキテクチャ

[このアーキテクチャの詳細は、「Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータのアーキテクチャ」、特に「スイッチ ファブリック」に関する章を参照してください。](#)

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

show controller fia コマンド

show controller fia コマンドは、Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータの Fabric Interface Asic (FIA) コントローラに関する情報を表示するために使用します。FIA は、Gigabit Route Processor (GRP; ギガビット ルート プロセッサ) と Line Card (LC; ラインカード) の両方に存在し、GRP/LC とスイッチ ファブリック カード (CSC/SFC) 間のインターフェイスを提供しま

す。

show controller fia コマンドは、Cisco 12000 シリーズのルータで発生するスイッチ ファブリックに関する問題のトラブルシューティングに非常に重要な役割を果たします。 [たとえば、Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータにおけるファブリック Ping のタイムアウトおよび障害のトラブルシューティングに使用します。スイッチ ファブリックのトラブルシューティングに関するガイドラインについては、「スイッチ ファブリック \(CSC および SFC \) のトラブルシューティング」を参照してください。](#)

show controller fia コマンドでは、From Fabric と To Fabric の FIA エラーが区別されています。From Fabric エラーは、スイッチ ファブリックからラインカードまたは GRP に向かうパケット用であり、To Fabric エラーは、ラインカードまたは GRP からスイッチ ファブリック経由で別のカードに向かうパケット用です。

次に、show controller fia コマンドの出力例を示します。

```
Line 1 12016#show controller fiaLine 2 Fabric configuration: Full bandwidth redundantLine 3
Master Scheduler: Slot 17Line 4Line 5 From Fabric FIA ErrorsLine 6 -----
Line 7 redund fifo parity 0 redund overflow 0 cell drops 0Line 8 crc32
lkup parity 0 cell parity 0 crc32 0Line 9 Switch cards present:
0x001F Slots 16 17 18 19 20Line 10 Switch cards monitored: 0x001F Slots 16 17 18 19 20Line
11 Slot: 16 17 18 19 20Line 12 Name: csc0 csc1
sfc0 sfc1 sfc2 -----
Line 13 los 0 0 0 0 0Line 14 state Off Off
Off Off OffLine 15 crc16 0 0 0 0 0Line
16Line 17 To Fabric FIA ErrorsLine 18 -----Line 19 sca not pres 0
req error 0 uni FIFO overflow 0Line 20 grant parity 0 multi req 0
uni FIFO undrflow 0Line 21 cntrl parity 0 uni req 0 crc32 lkup parity
0Line 22 multi FIFO 0 empty dst req 0 handshake error 0Line 23 cell
parity 0
```

- Line 2 は、ボックスがフルまたは 4 分の 1 のどちらの帯域幅モードであるか、および現在冗長であるかどうかを示します。
- Line 3 は、どの Clock and Scheduler Card (CSC; クロック スケジューラ カード) が現在マスターであるかを示します。17 はデフォルトのマスターです。
- Lines 7 ~ 15 は、From Fabric FIA のさまざまなエラー カウンタを示します。 [一部のエラーカウンタの説明は、「スイッチ ファブリック \(CSC および SFC \) のトラブルシューティング」に記載されています。](#)
- Lines 9 と 10 は、現在存在し (電源が投入されている) 監視されている (使用中である) ファブリックカードを示す逆ビット マスクです。ビットは、次のように分類されます。Line 1
12016#show controller fiaLine 2 Fabric configuration: Full bandwidth redundantLine 3
Master Scheduler: Slot 17Line 4Line 5 From Fabric FIA ErrorsLine 6 -----
--Line 7 redund fifo parity 0 redund overflow 0 cell drops 0Line 8
crc32 lkup parity 0 cell parity 0 crc32 0Line 9 Switch cards
present: 0x001F Slots 16 17 18 19 20Line 10 Switch cards monitored: 0x001F Slots 16
17 18 19 20Line 11 Slot: 16 17 18 19 20Line 12 Name:
csc0 csc1 sfc0 sfc1 sfc2 -----
- -----Line 13 los 0 0 0 0 0Line 14
state Off Off Off Off OffOffLine 15 crc16 0 0
0 0 0Line 16Line 17 To Fabric FIA ErrorsLine 18 -----
Line 19 sca not pres 0 req error 0 uni FIFO overflow 0Line 20 grant
parity 0 multi req 0 uni FIFO undrflow 0Line 21 cntrl parity 0
uni req 0 crc32 lkup parity 0Line 22 multi FIFO 0 empty dst req 0
handshake error 0Line 23 cell parity 0
この場合、0x1F は 00011111 で、すべてのカードが存在することを示します。0x1D は 00011101 で、CSC1 のビットがオフになっていることを示します。
- Line 11 は、次のスロットのヘッダ行です。0= スロット 16=CSC01= スロット

- 17=CSC12= スロット 18=SFC03= スロット 19=SFC14= スロット 20=SFC2
- Line 13 は、ファブリックカードでクロックの同期を喪失した回数を示します。
 - Line 14 は、同期ステータスを示します。" on "は同期から現在あることを意味します; 「Off」は同期していることを示します。
 - Line 15 は、このファブリックカードと通信しているときに発生した、ファブリックの Cyclic Redundancy Check (CRC; 巡回冗長検査) エラーの回数を示します。この値が高い場合は、通常、ハードウェアが正しく装着されていないことを示します。エラー回数が増加するかどうかを調べるのが重要です。増加する場合は、すべてのファブリックカードで増加するのか、1つのファブリックカードでのみ増加するのかを調べる必要があります。
 - Lines 19 ~ 23 は、To Fabric FIA のさまざまなエラー カウンタを示します。 [一部のエラーカウンタの説明は、「スイッチファブリック \(CSC および SFC \) のトラブルシューティング」に記載されています。](#)

12410 のファブリックの物理構成は多少異なるので、出力も若干異なります。

```

Line 1  12410#show controller fia Line 2  Fabric configuration: Full bandwidth, redundant
fabric Line 3  Master Scheduler: Slot 17 Backup Scheduler: Slot 16 Line 4Line 5  From Fabric
FIA Errors    Line 6  ----- Line 7  redund fifo parity 0  redund overflow 0
cell drops 0  Line 8  crc32 lkup parity 0  cell parity 0  crc32 0Line 9  Switch
cards present 0x007C Slots 18 19 20 21 22Line 10  Switch cards monitored 0x007C Slots 18 19 20
21 22 Line 11  Slot:  18      19      20      21      22Line 12  Name:  sfc0    sfc1
sfc2    sfc3    sfc4    ----- ----- ----- ----- ----- Line 13  los
0        0        0        0        0 Line 14  state Off    Off    Off    Off    Off
Line 15  crc16 0        0        0        0        0 Line 16  Line 17  To Fabric FIA Errors Line
18  ----- Line 19  sca not pres 0  req error 0  uni fifo overflow 0 Line
20  grant parity 0  multi req 0  uni fifo undrflow 0 Line 21  cntrl parity 0  uni req 0
crc32 lkup parity 0 Line 22  multi fifo 0  empty dst req 0  handshake error 0 Line 23  cell
parity 0

```

[関連情報](#)

- [Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータにおけるファブリック ping のタイムアウトおよび障害のトラブルシューティング](#)
- [スイッチファブリック \(CSC および SFC \) のトラブルシューティング](#)
- [ルータのテクニカル サポート](#)
- [Cisco IOS ソフトウェアのテクニカル サポート](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)